

第 19 回 デイサービスへいあんケア 地域密着型通所介護運営推進会議

事業所名： デイサービス へいあんケア

種類 : 地域密着型通所介護

日時 : 令和 7 年 9 月 30 日 (火)

会場 : 感染症予防のため、書面による報告とする

出席者 :

区分	人数	区分	人数
利用者代表	0 名	市役所職員	0 名
利用者の家族	0 名	知見を有する者	0 名
地域住民の代表	0 名		

《議題》 活動状況の報告

1. 利用者状況
2. デイでの過ごし方の報告
3. 行事報告
4. 入浴・食事について
5. コロナウイルス・インフルエンザ等感染症防止について
6. 利用者、ご家族、関係各所からの要望・ご意見
7. 現在の課題
8. 事業者が今回取り組んだこと
9. 今後の方針

1. 利用者状況 令和 7 年 9 月 30 日現在

- 1) 利用者数 23 名 男性 8 名 女性 15 名

- 2) 曜日別利用者数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
12 名	10 名	11 名	10 名	12 名

- 3) 利用者の介護度

要支援1	要支援2	要支援2 障害福祉	障害福祉	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1 名	2 名	1 名	1 名	8 名	4 名	4 名	2 名	0 名

- 4) 利用者の年齢

～59 歳	60～70 歳	71～80 歳	81～90 歳	91～100 歳
0 名	2 名	6 名	7 名	8 名

2.デイでの過ごし方の報告

1日のスケジュール	
8:30～9:30 9:30	迎え お茶・コーヒー摂取 健康チェック（血圧・体温・脈拍・主観的及び客観的症状など）排せつ介助 体重測定（月1回） 入浴（9:30～11:30） メドマー開始（帰るまでに対象の方へ実施）
10:00 10:30	塗り絵・パズル 介護体操
11:30 11:45 12:00	口腔体操 昼食 歯磨き、口腔ケア、排せつ介助 休息
13:30 14:00	介護体操 ティータイム（おやつ） 誕生会 レクリエーション（前半） 月の工作 月の行事 送り
14:40 15:00	レクリエーション（後半） カラオケ 送り

- ・血圧の高めの方、低めの方がおられるため、健康チェック後、入浴の順番を決定し、介助している。血圧が、安定しない場合は、ご本人、ケアマネージャーと相談し、シャワー浴のみとしたり中止としたりしている。
- ・飲料については、糖尿病のある方は砂糖抜きコーヒーや緑茶を選択している。コーヒー、お茶（温・冷）は、ご本人の希望で準備している。
- ・ぬりえ、パズル、間違い探し、脳トレプリントは、ご本人の希望や状況に合わせて準備し、取り組んでおられる。終了したものは持ち帰っていただいている。
- ・介護体操は、椅子に座って全身を動かすことを意識して取り組んでいる。
- ・ティータイムの時間を利用して、誕生月の利用者の方の誕生日をお祝いしている。

- ・各月テーマを決めて、工作に取り組み、作成後は、室内に月末まで掲示し、利用者の方々が他の利用者の方々の作成されたものを見て、感想を伝えあったりされている。
- ・レクリエーションは、前半で当日の利用者全員を対象としたゲームや工作を行っている。早くデイを終える方を送り出した後、後半はカラオケやトランプ、お手玉棒倒しなど、個々の方々の好みに応じた簡単レクを実施している。
- ・より安全に且つ快適に過ごして頂けるよう随時座席の配置替えも行っております。利用者様の要望にも耳を傾け思いに寄り添いながら、安全第一で状況に合わせて臨機応変に対応している。

3.行事報告

4月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)朝顔 工 作:4月の張り絵 行 事:お花見お出かけ(横山) 誕生会:ランチョンマット、フォトプレゼント、	7月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)鯉 工 作:天の川と星 行 事:七夕飾り願い事 誕生会:ランチョンマット、フォトプレゼント
5月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)鯉のぼり 工 作:紙コップ鯉のぼり 行 事:駄菓子屋さん 誕生会:ランチョンマット、フォトプレゼント	8月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)海 工 作:手作り風鈴 行 事:お茶会 誕生会:ランチョンマット、フォトプレゼント
6月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)紫陽花 工 作:貼り絵 行 事:チーム対抗鬼退治 誕生会:ランチョンマット、フォトプレゼント	9月	塗り絵:今月のぬりえ(掲示)紅葉 塗り絵:ウサギと月 工 作:お月見張り絵 行 事:ピンポンリレー 誕生会:フォトプレゼント

4.入浴・食事について

1)入浴について

「利用者の概要」

歩けない方1名は、シャワー用車いすを利用しシャワー浴のみで対応している。また、歩行は可能であるが、歩行障害がある方はシャワー用車いすを利用し浴槽への入浴を職員の介助で行っている。収縮期血圧が150mmHgを超えてなかなか下がらない方が2～3名、収縮期血圧が100mmHgを下回ったままなかなか上がってこない方が2名ほどおられ、血圧が改善されない場合は、シャワー浴のみで対応している。現在のところ、入浴中のインシデント・アクシデントは発生していない。

一般入浴利用者	シャワー浴のみ利用者	機械浴利用者	車いすシャワーチェア利用者
22名	1名	0名	2名

- ①日替わりで入浴剤(森林の香り・ラベンダー)を使用し、好評を得ているため継続している。
- ②シャワー用車いすを活用し、安全確保に努めている。(3名)
- ③着替えの準備が整わない方が増えてきているため、送迎時の持ち物確認を徹底し、入浴時の衣類の着替えができるよう対応している。(6名)
- ④皮膚トラブルのある方への対応(7～10名)
 - ・強皮症のような症状で下肢の皮膚が乾燥し硬くなっている⇒ワセリン塗布後ガーゼ保護時々、表面が割れて創部から感染を起こすことがある。
 - ・下肢の白癬症が重症化しており、治療薬を塗布する際に大声で痛がる⇒入浴後治療薬を塗布
 - ・足背、腰背部などに掻痒や疼痛があり、治療薬を塗布している。
 - ・暑い時期、足趾に腫れなどが見られ抗生物質入りの治療薬を塗布している。
 - ・心疾患用胸部貼付薬の貼替
 - ・腰痛、膝痛などへの鎮痛湿布薬の貼替(数名)

2)食事について

- ①利用者様の状況に応じて、ミキサー食、トロミ食、一口大食の提供を行っている。
- ②減塩食や高たんぱく食、糖尿病食などへの対応はできないが、みそ汁を薄くする、甘いデザートを提供しない等の対応は行っている。
- ③昼食時にお膳にデザートを必ず添えている。
- ④食材の価格が高騰し、米価格に耐え切れず6月より1食価格 500円と値上げをさせて頂いた。
- ⑤主食などは柔らかめとし、高齢者に食しやすい工夫を行っている。
- ⑥食器類は、瀬戸物で提供している。

5.《コロナウイルス・インフルエンザ等感染症防止について》

1)現状報告

- ・4月、5月頃発熱され利用を休まれる方がおられた。
- ・職員、利用者ともにご家族や近しい方にインフルエンザやコロナの感染者がおられる報告があった。
- ・4月～9月の期間は、ご利用者・職員ともコロナおよびインフルエンザの感染者の報告はなかった。
- ・ご利用者にひどい下痢症状で休まれた方が数名おられたが、感染症の報告はなかった。
- ・ご利用者からの要望を受け、5月よりご利用者の方のマスク装着をご利用の判断とした。

2) 対策について

- ①職員体調不良時は、受診してから出勤する(受診結果を事業者へ報告する。
 - ②発熱のある利用者については、受診をすすめる。
 - ③手洗い(手指消毒)、うがいを徹底する(入口にアルコール噴霧器設置)。
 - ④下痢時は、職員はディスポエプロン着用(購入済み)、消毒はハイターで行う。
 - ⑤感染症発生時には、利用者様へマスクの着用をお願いする。
 - ⑥外部の方の(関係者は除く)デイサービス利用者への面会のご遠慮していただく。
 - ⑦スタンダードプリコーションの徹底(食事介助、口腔ケア介助、排せつ介助、下膳:手袋着用)
 - ⑧枕カバーの利用者毎回交換と毎日の洗濯を徹底する。
 - ⑨分泌物があると思われるもの(ティッシュ、スプーン、はし、コップなど)を取り扱う際は、手袋を使用する。
 - ⑩口腔ケア時、食事介助時は手袋を装着する。
- ※ご利用者の方の体温などの健康状態の確認、アルコールによる消毒、座席の前向き配置については継続している。

6. 利用者、ご家族、関係各所からの要望・ご意見

要望・ご意見等	対 応
・ご利用者様 マスクの着用必要か	5月からご利用者の方々、ご家族の方々の判断とさせていただき、説明を行った。職員は、会社の方針で着用必須としている。
・ご利用者様 お昼寝時間時に、うるさい利用者のせいで休めない。	大声で叫び続ける利用者の方について、担当ケアマネージャー、ご家族と相談の上、安静時間前(12時30分頃)までのご利用とさせていただいた。
・ご利用者様 1名のご利用者の、職員に対するセクハラ行為(セクハラ発言、触る、見せるなど)に、イライラする。曜日を変えてほしい。	担当ケアマネージャー、ご家族と相談し利用曜日の変更をお願いした。ご本人としっかり話して、触る、声に出して発言することをやめて頂くようお願いした。
・ご家族様 デイでの便や尿の回数が知りたい。	要望のある方には、連絡帳へ記入するように対応した。
・ご利用者様 担当ケアマネージャーへの苦情	直接担当ケアマネージャーへ伝え、担当ケアマネージャーが変更となった。
・ご利用者様 特定の方と隣もしくは近くに座れるよう座席を配慮してほしい。	可能な限り対応するが、他の方との兼ね合いを考慮し難しい場合もあることを伝えて納得していただいた。

7. 課題について

1) 前回の課題

- ①レクリエーションや行事に対する取り組みを強化する必要がある。
 - ・日々のレクリエーション担当職員を明確にし、開始時間・終了時間をきちんと設定して、担当職員が全力で取り組めるよう、業務改善を図った。これまでより、充実してきていると考える。今後は、内容や利用者の

方から評価を行ってもらう。

②一部のご利用者の方の行動や発言で嫌な思いをされている方がいる。

・利用曜日の変更や、座席の配置、当該利用者の方の興味のある事(野球観戦、カラオケ)などを多く取り入れ、ご本人に充実して過ごしていただけるよう取り組んだ。⇒うまくいくときと、行かない時がある。

③フロアーの室温について、暑いと言われる方、寒いと言われる方など個々に体感温度が異なるため対応に苦慮する。

・寒がりや、クーラーの嫌いな方をクーラーから離れた位置に配置し、暑がりな方には、そばに扇風機を設置した。寄付などをつのり、扇風機の台数を増やした。

8. 事業所が今回取り組んだこと

①職員の技術的・技量的質の向上を図るため、管理者以外全員(5名)が実務者研修を受け修了した。

②9月と10月に避難訓練、総合防災訓練を実施した。

③職員の業務改善を強化した。

④利用者の通所介護計画書の検討会を毎月充実させた。

9. 今後の方針

①個々をとらえ、個々に満足していただけるデイサービスをめざす。

②利用者様、ご家族、関連機関様のご意見やご要望に迅速に対応できるよう努力する。

③感染予防対策を徹底する。

④地域密着型通所介護としてその魅力を最大限に引き出した事業所をめざす。

⑤職員の研修を充実させる。

以上、ご報告致します。どうかよろしくお願いいたします。